



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下 一明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 郷原 和哉 TEL 0829-55-2112
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	73,854	9.1	2,646	10.1	2,520	△10.0	1,462	6.2
2024年3月期	67,672	9.7	2,403	26.9	2,798	20.9	1,377	106.0

(注) 包括利益 2025年3月期 2,944百万円 (△9.1%) 2024年3月期 3,238百万円 (44.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	88.77	—	6.0	4.0	3.6
2024年3月期	83.58	—	6.3	4.7	3.6

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	64,970	27,723	38.9	1,532.58
2024年3月期	62,366	25,602	37.2	1,406.35

(参考) 自己資本 2025年3月期 25,256百万円 2024年3月期 23,177百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,815	△1,552	282	9,361
2024年3月期	4,327	△1,219	△1,765	8,172

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	—	—	22.00	22.00	362	26.3	1.7
2025年3月期	—	—	—	22.00	22.00	362	24.8	1.5
2026年3月期 (予想)	—	—	—	24.00	24.00		20.2	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	41,900	3.3	2,000	23.1	2,020	29.0	1,400	88.6	84.96
通期	77,100	4.4	2,900	9.6	2,980	18.3	1,960	34.0	118.96

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	16,490,000株	2024年3月期	16,490,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期	10,436株	2024年3月期	9,765株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	16,479,804株	2024年3月期	16,480,707株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	25,542	0.7	△948	—	1,146	39.7	1,010	72.1
2024年3月期	25,355	5.1	△934	—	820	△26.1	587	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	61.33	—
2024年3月期	35.64	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年3月期	42,849		17,432		40.7	1,057.80		
2024年3月期	42,256		16,836		39.8	1,021.62		

(参考) 自己資本 2025年3月期 17,432百万円 2024年3月期 16,836百万円

2. 2026年3月期の個別業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	14,700	8.2	1,200	97.7	1,180	104.8	71.63
通期	26,500	3.7	1,450	26.4	1,400	38.5	84.94

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある事業等のリスクにつきましては、有価証券報告書をご覧ください。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

また、業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等の注記)	15
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

(単位：百万円)

指標等	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率 (%)
売上高	67,672	73,854	6,181	9.1
営業利益	2,403	2,646	242	10.1
経常利益	2,798	2,520	△278	△10.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,377	1,462	85	6.2
1株当たり当期純利益	83円58銭	88円77銭		

(当期の国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率 (%)
国内	28,652	27,638	△1,013	△3.5
海外	39,020	46,215	7,195	18.4
合計	67,672	73,854	6,181	9.1
海外売上構成比	57.7%	62.6%		

当連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）におけるわが国経済は、円安を背景にした物価上昇により個人消費に弱さが見られた一方で、輸出企業を中心に企業業績は堅調に推移しました。世界経済においては米中間で激化する貿易摩擦の議論や金融引き締めなどにより景気減速が懸念され、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいりました。

その結果、連結売上高は前年同期比9.1%増の738億54百万円（為替変動の影響を除くと4.7%増）となりました。

国内売上は、殺虫剤市場が拡大したことで国内向けの殺虫剤売上が伸長した一方で、越境ECの売上が減少したこともあり、前年同期比3.5%減の276億38百万円となりました。

一方、海外売上は、主力の東南アジア各国に加えて欧州などでも現地通貨ベースで前年を上回り、円貨ベースでは円安の影響も受けた結果、前年同期比18.4%増の462億15百万円（為替変動の影響を除くと10.8%増）となりました。

次に、売上原価は、前年同期比36億40百万円増加し513億2百万円、売上原価率は69.5%となり、前年同期より0.9ポイント減となりました。売上総利益は225億52百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

販管費につきましては、販促経費、人件費等が増加した結果、前年同期比13.1%増の199億5百万円となりました。

これらの結果、営業利益は26億46百万円（前年同期比10.1%増）、経常利益は25億20百万円（前年同期比10.0%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は14億62百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

次に、セグメント別の概況についてご報告申し上げます。

(単位：百万円)

		前連結会計年度	当連結会計年度	増減額	増減率 (%)
日本		29,208	28,242	△965	△3.3
	殺虫剤	15,459	14,626	△833	△5.4
	家庭用品	1,981	1,892	△88	△4.5
	園芸用品	4,189	4,256	67	1.6
	防疫剤	1,484	1,436	△47	△3.2
	その他	6,093	6,030	△63	△1.0
東南アジア		26,908	31,789	4,880	18.1
	殺虫剤	26,853	31,708	4,855	18.1
	家庭用品	55	80	24	44.5
欧州		9,710	11,606	1,896	19.5
	殺虫剤	9,710	11,606	1,896	19.5
その他		1,844	2,216	371	20.1
	殺虫剤	1,844	2,216	371	20.1
合計		67,672	73,854	6,181	9.1
	殺虫剤	53,868	60,157	6,289	11.7
	家庭用品	2,036	1,973	△63	△3.1
	園芸用品	4,189	4,256	67	1.6
	防疫剤	1,484	1,436	△47	△3.2
	その他	6,093	6,030	△63	△1.0

日本

殺虫剤部門では、国内向けの売上は市場が拡大したことから伸長した一方で、越境ECの売上が減少したことから、146億26百万円（前年同期比8億33百万円減、5.4%減）となりました。

家庭用品部門は、主力のアルコール除菌剤の売上が競争激化の中で前期並みとなり、除湿剤の売上が前期を下回ったことなどにより、18億92百万円（前年同期比88百万円減、4.5%減）となりました。

園芸用品部門は、これまで売上をけん引してきた除草剤の売上が減少した一方で、殺虫殺菌ハンドスプレーやネズミ対策商品等の新製品の売上に加え、既存製品においてもカメムシの大量発生によってカメムシ関連商材など園芸用不快害虫商品の売上が前期を上回ったことから、42億56百万円（前年同期比67百万円増、1.6%増）となりました。

防疫剤部門の売上高は、14億36百万円（前年同期比47百万円減、3.2%減）となりました。

その他の部門の売上高は、60億30百万円（前年同期比63百万円減、1.0%減）となりました。

なお、外部顧客に対する売上高は、282億42百万円（前年同期比9億65百万円減、3.3%減）で、セグメント損失は7億13百万円（前年同期は6億14百万円のセグメント損失）となりました。

東南アジア

主要各国の売上が現地通貨ベースで前期を上回り順調に成長し、さらに円安の影響を受けた結果、外部顧客に対する売上高は317億89百万円（前年同期比48億80百万円増、18.1%増）となりました。また、セグメント利益は23億86百万円（前年同期比92百万円増、4.0%増）となりました。

欧州

欧州においては、イタリアで展開する2社がいずれも現地通貨ベースで前期を上回り、円安の影響を受けた結果、外部顧客に対する売上高は116億6百万円（前年同期比18億96百万円増、19.5%増）となりました。また、セグメント利益は4億86百万円（前年同期比1億92百万円増、65.4%増）となりました。

その他

インドとメキシコを中心に販売し、外部顧客に対する売上高は22億16百万円（前年同期比3億71百万円増、20.1%増）となりました。また、セグメント利益は64百万円（前年同期は2百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度における総資産額は、前連結会計年度末と比べて26億4百万円増加し、649億70百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が11億74百万円、売掛金が7億41百万円、原材料及び貯蔵品が6億77百万円、商品及び製品が2億97百万円、建設仮勘定が2億53百万円増加した一方で、受取手形が4億70百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて4億83百万円増加し、372億46百万円となりました。主な要因は、短期借入金が13億22百万円、未払金が2億72百万円、賞与引当金が1億64百万円、繰延税金負債が1億44百万円、退職給付に係る負債が1億10百万円増加した一方で、電子記録債務が9億56百万円、支払手形及び買掛金が3億99百万円、返金負債が1億40百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて21億21百万円増加し277億23百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が12億4百万円、利益剰余金が11億円増加した一方で、資本剰余金が1億37百万円減少したこと等によるものであります。

自己資本比率は1.7ポイント増加し、38.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【連結キャッシュ・フロー計算書(要約)】

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,327	1,815	△2,512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	△1,552	△333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,765	282	—
換算差額	614	643	29
現金及び現金同等物の増減額	1,956	1,189	△767
現金及び現金同等物の期首残高	6,215	8,172	1,956
現金及び現金同等物の期末残高	8,172	9,361	1,189

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ11億89百万円増加し、93億61百万円となりました。

営業活動によって獲得した資金は、18億15百万円(前年同期は43億27百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前当期純利益が26億44百万円、減価償却費が17億37百万円、仕入債務の減少額が15億49百万円、法人税等の支払額が8億74百万円あったこと等によるものであります。

投資活動によって使用した資金は、15億52百万円(前年同期は12億19百万円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が16億88百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によって獲得した資金は、2億82百万円(前年同期は17億65百万円の使用)となりました。これは短期借入金の純増減額の増加が12億86百万円、配当金の支払が3億62百万円、子会社株式の追加取得が3億19百万円あったこと等によるものです。なお、当連結会計年度末における借入金残高は、前期末に比べ13億83百万円増加して、163億67百万円となりました。

(4) 今後の見通し

(単位：百万円)

指標等	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率(%)
売上高	73,854	77,100	3,245	4.4%
営業利益	2,646	2,900	253	9.6%
経常利益	2,520	2,980	459	18.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,462	1,960	497	34.0%
1株当たり当期純利益	88円77銭	118円96銭		

赤道近くの国々では、蚊が媒介するマラリアやデング熱などの感染症でいまだに多くの命が奪われています。ここでは、殺虫剤は命を守るための必需品です。

当社グループは、経営理念のもと、殺虫剤、家庭用品、園芸用品をコア事業と位置づけ、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献する商品を提供しています。このことは当社グループの事業そのものがSDGsの目標3、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」のターゲット3.3「2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。」を実践していることに他なりません。

世界全体が様々な要因によって不確実性を増しており、景気の先行きは見通せない状況のなか、当社グループは経営理念を実現するため、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいります。

これからも、多様なリスクが複雑に絡み合う状況に対し、より柔軟に対応するため、様々な経営課題に取り組んでまいります。以上により、通期の売上高は771億円、営業利益29億円、経常利益29億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は19億60百万円となる見通しであります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置づけております。利益配分につきましては、業績や将来の事業展開、内部留保等を総合的に勘案しつつ、株主様への安定的かつ継続的な利益還元を努めてまいります。

また、財務体質の強化と経営基盤の強化を図るとともに、研究開発、生産設備、情報機器等の戦略的な投資を積極的に行っていく方針であります。これらは将来にわたる経営体質強化と利益の向上を目指したもので、必ずや株主の皆様への利益還元に貢献するものと考えております。

2025年3月期の期末配当金につきましては、1株について22円を予定しております。

2026年3月期の期末配当金につきましては、期末業績予想を踏まえ、1株につき24円を予定しております。なお、中間配当金につきましては、当社は季節商品である殺虫剤の売上構成比が高く、季節によって業績の変動幅が大きいため、期末配当のみを行っております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,874	10,048
受取手形	534	63
売掛金	16,724	17,466
電子記録債権	485	524
商品及び製品	8,542	8,839
仕掛品	730	753
原材料及び貯蔵品	3,976	4,653
返品資産	837	737
その他	1,702	1,435
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	42,387	44,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,502	12,006
減価償却累計額	△5,988	△6,497
建物及び構築物 (純額)	5,513	5,509
機械装置及び運搬具	14,695	15,546
減価償却累計額	△12,458	△13,154
機械装置及び運搬具 (純額)	2,237	2,392
工具、器具及び備品	5,027	5,329
減価償却累計額	△4,453	△4,831
工具、器具及び備品 (純額)	573	498
土地	928	948
リース資産	54	96
減価償却累計額	△14	△58
リース資産 (純額)	40	38
使用権資産	1,508	1,689
減価償却累計額	△777	△923
使用権資産 (純額)	730	766
建設仮勘定	251	504
有形固定資産合計	10,275	10,657
無形固定資産		
のれん	1,000	952
商標権	898	744
その他	1,224	1,268
無形固定資産合計	3,123	2,966
投資その他の資産		
投資有価証券	5,241	5,177
繰延税金資産	559	737
退職給付に係る資産	135	187
その他	793	911
貸倒引当金	△149	△169
投資その他の資産合計	6,580	6,844
固定資産合計	19,978	20,468
資産合計	62,366	64,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,771	7,371
電子記録債務	3,172	2,216
短期借入金	14,191	15,514
1年内返済予定の長期借入金	271	293
リース債務	85	104
未払金	3,301	3,573
未払法人税等	231	155
賞与引当金	644	808
返金負債	2,435	2,295
その他	1,000	903
流動負債合計	33,105	33,238
固定負債		
長期借入金	521	560
リース債務	257	283
繰延税金負債	1,125	1,270
退職給付に係る負債	767	877
役員退職慰労引当金	428	459
資産除去債務	34	34
その他	524	523
固定負債合計	3,658	4,008
負債合計	36,763	37,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698	3,698
資本剰余金	4,797	4,659
利益剰余金	10,457	11,558
自己株式	△8	△9
株主資本合計	18,944	19,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,117	2,065
為替換算調整勘定	2,003	3,208
退職給付に係る調整累計額	110	75
その他の包括利益累計額合計	4,232	5,349
非支配株主持分	2,425	2,467
純資産合計	25,602	27,723
負債純資産合計	62,366	64,970

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	67,672	73,854
売上原価	47,661	51,302
売上総利益	20,011	22,552
販売費及び一般管理費		
運送費	3,176	3,682
広告宣伝費	1,961	2,336
販売促進費	1,868	2,260
旅費及び交通費	589	606
貸倒引当金繰入額	5	7
給料及び手当	3,476	3,880
賞与	292	315
役員賞与	—	7
賞与引当金繰入額	308	424
退職給付費用	138	107
役員退職慰労引当金繰入額	56	58
減価償却費	544	652
その他	5,189	5,565
販売費及び一般管理費合計	17,607	19,905
営業利益	2,403	2,646
営業外収益		
受取利息	140	162
受取配当金	130	152
不動産賃貸料	46	47
技術指導料	17	26
その他	246	184
営業外収益合計	580	573
営業外費用		
支払利息	115	157
為替差損	13	470
その他	56	71
営業外費用合計	185	700
経常利益	2,798	2,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	4	4
投資有価証券売却益	14	123
特別利益合計	18	128
特別損失		
固定資産除売却損	44	3
関係会社株式評価損	6	—
役員退職慰労金	—	0
特別損失合計	51	3
税金等調整前当期純利益	2,766	2,644
法人税、住民税及び事業税	939	907
法人税等調整額	139	△35
法人税等合計	1,079	871
当期純利益	1,687	1,772
非支配株主に帰属する当期純利益	309	309
親会社株主に帰属する当期純利益	1,377	1,462

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,687	1,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	296	△51
為替換算調整勘定	1,180	1,258
退職給付に係る調整額	73	△34
その他の包括利益合計	1,551	1,172
包括利益	3,238	2,944
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,836	2,580
非支配株主に係る包括利益	401	364

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,698	4,797	9,442	△7	17,930
当期変動額					
剰余金の配当			△362		△362
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,377		1,377
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,014	△1	1,013
当期末残高	3,698	4,797	10,457	△8	18,944

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	1,820	915	36	2,772	2,186	22,890
当期変動額						
剰余金の配当						△362
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,377
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	296	1,088	73	1,459	238	1,698
当期変動額合計	296	1,088	73	1,459	238	2,712
当期末残高	2,117	2,003	110	4,232	2,425	25,602

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,698	4,797	10,457	△8	18,944
当期変動額					
剰余金の配当			△362		△362
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,462		1,462
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△138			△138
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△138	1,100	△0	961
当期末残高	3,698	4,659	11,558	△9	19,906

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	2,117	2,003	110	4,232	2,425	25,602
当期変動額						
剰余金の配当						△362
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,462
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動						△138
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△51	1,204	△35	1,117	42	1,159
当期変動額合計	△51	1,204	△35	1,117	42	2,120
当期末残高	2,065	3,208	75	5,349	2,467	27,723

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,766	2,644
減価償却費	1,464	1,737
のれん償却額	124	134
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	193	76
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△39	△0
その他の引当金の増減額 (△は減少)	45	117
受取利息及び受取配当金	△270	△315
支払利息	115	157
為替差損益 (△は益)	—	7
関係会社株式評価損	6	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△14	△123
有形固定資産除売却損益 (△は益)	40	△1
受取保険金	△1	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,407	178
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,128	△606
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,903	△1,549
返品資産の増減額 (△は増加)	△163	104
返金負債の増減額 (△は減少)	358	△149
未払金の増減額 (△は減少)	△41	79
未収入金の増減額 (△は増加)	176	397
その他	824	△361
小計	4,953	2,523
利息及び配当金の受取額	264	321
利息の支払額	△102	△158
保険金の受取額	1	2
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△788	△874
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,327	1,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	27	7
有形固定資産の取得による支出	△1,153	△1,688
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△71	△29
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	49	153
その他	△69	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	△1,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△998	1,286
長期借入れによる収入	352	329
長期借入金の返済による支出	△372	△308
リース債務の返済による支出	△201	△142
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△362	△362
非支配株主への配当金の支払額	△181	△199
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,765	282
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,956	1,189
現金及び現金同等物の期首残高	6,215	8,172
現金及び現金同等物の期末残高	8,172	9,361

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、殺虫剤、家庭用品、園芸用品及び防疫用剤の製造・販売を主な事業内容とする単一事業であり、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「東南アジア」、「欧州」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場の実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	29,208	26,908	9,710	65,828	1,844	67,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,559	2,352	—	5,912	—	5,912
計	32,768	29,261	9,710	71,740	1,844	73,585
セグメント利益又は損失(△)	△614	2,293	294	1,973	2	1,975

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	28,242	31,789	11,606	71,638	2,216	73,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,671	2,824	—	7,496	61	7,558
計	32,914	34,614	11,606	79,134	2,278	81,412
セグメント利益又は損失(△)	△713	2,386	486	2,159	64	2,223

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利 益	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)
報告セグメント計	1,973	2,159
「その他」の区分の利益	2	64
セグメント間取引消去	428	423
連結財務諸表の営業利益	2,403	2,646

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当する事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
(1) 1株当たり純資産額	1,406.35円	(1) 1株当たり純資産額	1,532.58円
(2) 1株当たり当期純利益	83.58円	(2) 1株当たり当期純利益	88.77円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,377	1,462
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,377	1,462
普通株式の期中平均株式数 (千株)	16,480	16,479

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。